



学校だより

校訓「自律」「友愛」「勤勉」



HP:www.kita9.ed.jp

/norimatsu-j

I 学期を振り返って

7月に入り、暑い毎日が続いています。これからもしばらく蒸し暑い日が続きます。I 学期の学校生活も残りわずかとなりました。体調を崩さないよう気を付けて過ごしてほしいです。

中体連の大会では、それぞれの部活動ですばらしい活躍が見られました。目標としていた大会に出場できずに残念な結果であっても、チームの心を一つにして試合に臨み、力の限り尽くして戦う姿は立派です。一生懸命取り組んだ自分を認め、今後の学校生活への自信につなげてほしいと願っています。

各部の中体連が行われました。

今後、市内大会、県大会、全国コンクール大会を控えている部もあります。成長のチャンスです。則中、市・県の代表として自分の力を信じて力いっぱい活躍することを期待しています。

【1年生 車いす体験活動】

3日(水)、リオパラリンピック車椅子テニス日本代表選手「二條美穂さん(北海道出身)」をお招きしました。今回は、1年生を対象に講演「夢の力」を聴いた後、車いすの体験活動を行いました。

その中で、二條選手が、夢を実現するために大切にしている5つのことをご紹介します。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 心の中の「好き」を大切にする。 | 2. 夢を言葉にし、宣言する。 |
| 3. 誰かと自分を比べない | 4. 夢の階段を登る |
| 5. 「無理」と絶対に言わない。 | |

夢の実現に向けて私たちができることは何かをわかりやすく伝えてくれました。「やればできる」自分の可能性を信じて、あきらめずやり抜くことが必ず大きな成長につながることを教えてくれたように思います。失敗を恐れず、挑戦していける勇気をもらいました。二條選手、本当にありがとうございました。



<生徒の感想>

○講演を聴いて、夢に向かって大事なこと5つを知ることができました。人生は何か起こるかわからないので、自分の夢も実現できないかもしれない。けれど決してくじけずに何事にも意味があると思って過ごしたいなと思いました。そして、車いすの体験をして思ったのが意外と難しいなと思いました。車いすのことを調べることは以前もあったのですが、上手に乗れるという印象があったので車いすの人は並々ならぬ努力をしているなと感じました。

○私は二條選手の車いすテニスをしている姿を見て、すごいなと思いました。理由は自分も車いすに乗ったときにまっすぐに進むこともできなかったけれど、二條選手はターンも手を使わずに左に行ったり右に行ったりしていたのでたくさん努力したんだろうなと感じました。なので、私もすぐにあきらめるのではなく「好き」という中から自分の夢を見つけてみて「無理」と言わないようにして自分の夢を叶えたいです。

○転倒して体が自分の意思で動かさなくても、しっかり次の夢を目指していてすごいと思いました。自分の最初の夢がつぶれてしまっても家族や仲間の力を味方につけて、ポジティブに考え、次の夢、次の夢と自分の可能性をどんどん、どんどん広げていきたいと言っていました。私もその考えを取り入れていきたいと思います。

○私は二條選手の講演を聴いて、仲間を大切にしようと思った。二條選手が「仲間のおかげで今がある」と話していて、そんな優しい仲間が多くいることはそんなになんないと思う。だから、日頃友達と仲良く接し信頼されたい。そして、私自身も友達を助けたいと強く思った。

○「自分にはできなんだ…」と思うのではなく、「どうやったらできるようになれるのかな？」と自分の可能性を見つけて夢に向かって頑張っていきたいと思いました。